

『迷惑メールについて』

迷惑メールの概要

1999年後半からの急激なインターネットユーザーの増加に伴い、様々な問題・犯罪が発生しています。迷惑メール(スパムメール)もその一つで、ここ数年で社会問題にまで発展しています。

迷惑メールとは、一般的に「配信を希望していないのに一方的に送りつけられるメール」のことを指します。広告・宣伝目的のダイレクトメールが大半ですが、アダルトサイト・出会い系サイトから送られてくるメールや、架空請求やネズミ講まがいの案内などもあり、受け取った際に不快な思いをするメールも存在します。

こういった迷惑メールに対して、2002年に総務省より「特定電子メールの送信の適正化等に関する法律」が公布され、未承諾の広告には連絡先と件名に「未承諾広告」と明記することが義務付けられました。しかし、悪質な迷惑メール送信者(スパマー)はこの法律を軽視し、送信者を偽装するなど巧妙な手口で現在も迷惑メールを送り続けています。

総務省は「国民のための情報セキュリティサイト」(*)で注意を呼びかけたり、2005年5月に「特定電子メールの送信の適正化等に関する法律」を改正し、悪質なスパマーに対し罰則の強化などの対応をしています。

迷惑メールを受け取った際の注意点・対処法

プロバイダやソフトウェア開発企業でも様々な対策を検討・実施しておりますが、迷惑メールを完全に防ぐことは難しい状況です。施された様々な対策を巧妙にすり抜けて送られてくる迷惑メールから、最終的に身を守るのは自分自身です。迷惑メールを受信した際の注意点・対処法さえ知っていれば、その被害は激減します。

迷惑メールを受け取ったときに注意すべき基本的な事項は以下の三点です。

1) 開かない

メールを開くだけで影響が現れることは滅多にありませんが、ごく稀にウイルスやスパイウェアに感染する危険がありますので、安易に開かない方が良いでしょう。

2) リンク等をクリックしない

メールの本文にホームページのアドレス(URL)が記載されていることがあります。リンク先のホームページが必ずしも安全とは限りません。個人情報の収集を目的としたサイトにリンクされている場合もありますので、安易にクリックしない方が良いでしょう。

3) 返信しない

迷惑メールの中には「送信を止めてほしい場合はこのアドレスに返信してください」と記載されていることがあります。しかし、こうしたアドレスに返信してしまうことでお客様のメールアドレスが知られてしまいます。その結果さらに多くの迷惑メールが送られてくる場合もありますので、迷惑メールには安易に返信しない方が良いでしょう。

対処法としては、「不審なメール」「心当たりの無いメール」は削除するのが安全です。

なお、知人を装うもの、有名企業の名前を騙るメールなどもありますので注意が必要です。

メールソフトによっては、特定のアドレス・ドメインからのメールを受信した際に自動的に削除できるものもあります。

また、財団法人 日本データ通信協会(*2)では、迷惑メールの相談・お問合せ・情報提供の受付を行っております。

弊社としても、快適なインターネットサービスをご利用頂けるように努めております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

*1 国民のための情報セキュリティサイト http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/security/index.htm

*2 財団法人 日本データ通信協会 <http://www.dekyo.or.jp/>